

**特大容量タンク「GIGA TANK」を搭載したインクジェットプリンター
“G6030/G5030/GM2030”を発売しラインアップを拡充**

キヤノンは、特大容量タンク「GIGA TANK（ギガタンク）」を搭載したインクジェットプリンターの新製品として、カラー複合機“G6030”、カラープリンター“G5030”、モノクロプリンター“GM2030”を2019年6月6日より発売します。



G6030



G5030



GM2030

キヤノンは、家庭における年賀状や高画質写真、ビジネス用途の文書やチラシ、プロのアート作品など、多様なプリントニーズに応える幅広いインクジェットプリンターのラインアップを展開しています。今回、キヤノンの特大容量タンクに「GIGA TANK」と愛称をつけ、新製品3機種を加えることで、大量印刷と低ランニングコストを実現する「GIGA TANK」搭載モデルのラインアップを拡充します。これにより、家庭における子どもの学習教材やレシピ、ビジネス用途の文書など、普通紙で印刷する機会が多いユーザーのプリントニーズに対応します。

■ 特大容量タンク「GIGA TANK」と大量給紙により高生産性を実現

“G6030/G5030”はブラック2本とカラー各色1本ずつ、“GM2030”はブラック2本のインクボトルを本体に同梱しています。“G6030/G5030”はインクボトル各色1本（別売り）でブラックは約8,300ページ^{※1}、カラーは約7,700ページ^{※1}の大量印刷が可能です。インクコストはいずれもA4モノクロ約0.4円^{※2}、“G6030/G5030”はA4カラー約0.9円^{※2}と低ランニングコストなため、気兼ねなくプリントできます。新たに最大250枚積載可能な給紙カセットを搭載し、背面給紙と合わせて最大350枚の大量給紙による高い生産性を実現しています。

■ 新開発のブラックインクにより鮮明な印字が可能

新開発のブラックインクにより、高濃度でくっきりとした視認性の高い印字が可能です。モノクロプリンター“GM2030”は、カラーのインクカートリッジ（別売り）を装着^{※3}することで、カラー印刷にも対応します。

製品名	希望小売価格	発売日
G6030/G5030/GM2030	オープン価格	2019年6月6日

※1 エコノミーモード時。標準モード時はブラック約6,000ページ、カラー約7,700ページ。“GM2030”はブラック約8,300ページ（エコノミーモード時）。印字可能枚数は、A4カラー文書ISO/IEC 24712を使用し、キヤノン独自の測定方法で算出したものです。初めてプリンターを使用する際に充填したインクボトルではなく、2回目以降に充填するインクボトルを使用して算出しています。

※2 税別。普通紙使用、標準モード時。インクコストは「家庭用インクジェットプリンターの印刷コスト表示に関するガイドライン」（一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）制定）に従い記載しています。測定環境の詳細は、キヤノンホームページをご参照ください。

※3 カートリッジ装着後は速やかに使い切ることを推奨しています。

● 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 050-555-90067
● ビジネスインクジェットプリンターホームページ : canon.jp/bij

<主な特長>

1. 特大容量タンク「GIGA TANK」と大量給紙により高生産性を実現

- ・特大容量タンク「GIGA TANK」を搭載し、大量印刷が可能。
- ・“G6030/G5030”はブラック2本とカラー各色1本ずつ、“GM2030”はブラック2本のインクボトルを本体に同梱。
- ・“G6030/G5030”はインクボトル各色1本（別売り）でブラックは約8,300ページ、カラーは約7,700ページの大量印刷が可能。
- ・インクコストはいずれもA4モノクロ約0.4円、“G6030/G5030”はA4カラー約0.9円と低ランニングコストなため、気兼ねなくプリント可能。
- ・高密度プリントヘッドFINE技術により、3機種ともA4でモノクロ約13ipm、“G6030/G5030”はカラー約6.8ipmの高速プリント※を実現。
- ・新たに最大250枚積載可能な給紙カセットを搭載。背面給紙と合わせ最大350枚の大量給紙が可能。給紙カセットの一部分を透明にし、カセットを引き出すことなく残量の確認が可能。
- ・自動両面印刷に対応し、効率的に用紙を利用することが可能。
- ・“G6030”はカラー複合機として、プリントに加えて、スキャンやコピーが可能。
- ・プリントヘッドをオンラインショップや店頭で購入できるため、ユーザーが自分でヘッドを交換することが可能となり、ダウンタイム低減に寄与。

※ 普通紙への文書プリントスピードはISO/IEC 24734のオフィスカテゴリーテストによる片面印刷ESAT (Estimated Saturated Throughput)の平均値。「ipm」とは「image per minute」の略で、1分あたりに出力できる枚数もしくは面の数。



最大350枚の大量給紙 イメージ図

2. 新開発のブラックインクにより鮮明な印字が可能

- ・新開発のブラックインクにより、高濃度でくっきりとした視認性の高い印字が可能。
- ・モノクロプリンター“GM2030”は、カラーインクカートリッジ（別売り）を装着することで、カラー印刷にも対応。
- ・インク残量通知機能を搭載。残量が少なくなると通知し、印刷途中のインク切れ防止に貢献。
- ・特大容量タンク「GIGA TANK」は、ふたを開けてインクボトルを挿すだけで、インクが注入され、満タンになると自動で注入が終了するため、簡単にインク補充が可能。



インク補充のイメージ図

3. Wi-Fi・クラウド対応など多彩なプリント機能

- ・Wi-Fiに対応し、ワイヤレスでプリントできるため、設置場所の選択肢が拡大。
- ・有線LANに対応し、安定したデータ通信が可能。
- ・無料アプリ「Canon PRINT Inkjet/SELPHY」により、スマートフォン（スマホ）やタブレット内の文書やウェブページ※、写真などをワイヤレスでプリントが可能。また、コピーやスキャンなどの本体操作が可能。
- ・無料ソフトウェア「PosterArtist Lite」を使用すれば、約200種類のテンプレートからデザインを選択し、写真やクリップアートなどの素材を自由に使い、チラシなどを簡単に作成することが可能。
- ・各種ストレージサービスなどと連携し、クラウド上の写真や文書を簡単にプリントでき、スマホやタブレットから印刷指示が可能。
- ・スマートスピーカーに対応。話しかけることで、コンテンツの印刷やインクの残量などプリンターの状態確認が可能。

※ ウェブページの印刷はAndroidのみ対応。

<ご参考：GIGA TANK 搭載モデル一覧>

	製品名	発売日
カラー複合機	New G6030	2019年6月6日
	G3310	2018年2月22日
カラープリンター	New G5030	2019年6月6日
	G1310	2018年2月22日
モノクロプリンター	New GM2030	2019年6月6日

<インクジェットプリンターの市場動向>

インクジェットプリンターおよびインクジェット複合機の市場において、2018年の出荷台数は国内では約402万台、全世界では約5,977万台でした。2019年の出荷台数については国内では約372万台、全世界では約5,839万台と見込まれています*。

※ 出典：IDC, Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker, 2018Q4

<主な製品仕様>

各モデルの製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。

* Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。

* Androidは、Google LLCの商標または登録商標です。